

平成 2 5 年度 第 2 回拡大幹事会議事録

JCI 四国支部

- 1 . 日 時 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 15 時 40 分 ~ 17 時 40 分
- 2 . 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2 F 会議室
- 3 . 出席者 島弘 , 氏家勲 , 橋本親典 , 松島学 , 大内雅博 , 横井克則 , 谷脇準蔵 , 紙田直充 , 水越睦視 , 古田満広
(オブザーバー) 吉田秀典 , 渡辺健 , 塚越雅幸

4 . 配付資料

- 資料 2 - 0 議事次第 , 出席者名簿
- 資料 2 - 1 平成 2 5 年度第 1 回拡大幹事会議事録(案)
- 資料 2 - 2 平成 2 5 年度事業報告(案)・収支決算(案) ,
平成 2 6 年度事業計画(案)・収支予算(案)
- 資料 2 - 3 平成 2 6 年度収支予算(案)・事業計画(案)についての留意事項(本部からのメール)
- 資料 2 - 4 平成 2 6 年度現場見学会候補地
- 資料 2 - 5 本部・支部関連役職表

5 . 審議事項

島支部長より拡大幹事会開催に当たり挨拶があり , その後 , 各議題について審議が行われた。審議結果は , 以下のとおり。

(1) 平成 2 5 年度第 1 回拡大幹事会議事録の確認 (資料 2 - 1)

誤植等を一部修正し , 平成 25 年度第 1 回拡大幹事会議事録(案)が承認された。

(2) 平成 2 5 年度事業報告案および収支決算案について (資料 2 - 2)

前回の拡大幹事会の資料に追加した事業内容および平成 25 年 12 月末までの収支決算案について事務局より説明がなされ , 一部修正し承認された。また , 本件について 2 月 14 日までに JCI 本部への報告する必要があるため , 20 日の役員会承認は得られないが , 議題(3)の決定事項を含め暫定的に報告することになった。

- ・ 「講習会 , 講演会など」にコンクリート教育助成に対する活動報告を追記した。
- ・ 「鉄筋コンクリート構造の設計への実験と解析の役割」の講師の名前を修正した。
- ・ コンクリート診断士試験 , 技士試験等の担当者をフルネームで明記することにした。
- ・ 「生コンセミナー i n 香川」において成果報告する 2 つの研究委員会の予算等の取り扱いを以下のとおりとする。

【コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会】

研究委員会費で報告書を作成する。200 部予定している。なお , 報告書を販売した費用は , 会場費および発表者の旅費・日当等に充てることとし , 「生コンセミナー i n 香

川」の主催者である香川県生コンクリート工業組合の収支とする。

【四国の生コン技術力活性化委員会】

研究委員会報告書の作成費は、「生コンセミナー in 香川」への JCI 四国支部からの助成金を充てる。こちらにも収支は、香川県生コンクリート工業組合の管理とする。

【報告書の作成要領】

2 つの委員会合同で 1 冊の報告書を作成する予定であったが、それぞれの報告書でページ数が確保できたので、別々に作成する。

島支部長より研究委員会報告書について、個別の報告書番号を通して付すほうがいいのではとの提案があり、今回の報告書より以下の要領で番号を付すことになった。

四国コンクリート研究会の報告書は含まず、JCI 四国支部が発行した報告書を対象とする。過去の報告書を確認した結果、これまで「香川県の建設に関わる物質フロー研究会」の 1 件を加えると 7 件の報告書が発行されている。今回の 2 件の研究委員会報告書を 8, 9 番目とし、報告書番号は以下のとおりする。

「コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会」… JCI S-08

「四国の生コン技術力活性化委員会」… JCI S-09

- ・平成 25 年度収支決算(案)で、予算(a)と決算(b)の前期繰越収支差額の数値を決算(b)に統一することが確認された。

(3) 平成 26 年度事業計画案および収支予算案について (資料 2 - 2)

事務局より平成 26 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり対応することになった。

【事業計画案】

拡大幹事会

開催時期を以下のとおりとする。

- ・第 1 回：平成 26 年 10 月中旬 (上半期の事業報告，事業計画確認)
- ・第 2 回：平成 27 年 1 月中旬 (12 月末までの収支決算の確認，平成 27 年度事業計画と収支予算の審議)

役員会を 2 月初旬に開催するため、1 月中旬とした。

役員会

開催時期を以下のとおりとする。

- ・第 1 回：平成 26 年 4 月 11 日 14 時～15 時 (総会直前)
- ・第 2 回：平成 27 年 2 月初旬 (平成 27 年度の収支予算および事業計画を 2 月中旬頃までに本部へ報告しなければならない。)

総会

- ・同じ日に開催する役員会を含めスケジュールは本案どおりとする。

- ・本日開催された年次大会 2014 実行委員会で、総会当日 10 時から同じ会場で第 5 回実行委員会を開催する。
- ・総会の議長は島支部長とし、進行係は橋本幹事とする。
- ・議事録作成者は甲斐本部理事とし、署名人は氏家幹事と松島幹事とする。
- ・総会の開催案内状送付は 3 月 10 日頃とし、例年どおり往復はがきとする。
- ・懇親会費用は、これまでの実績に基づき決定する。
- ・懇親会参加費は、例年どおりとする。
- ・コンクリート教育助成の対する活動報告の阿南工業高校への依頼担当を橋本幹事とする。ただし、次年度からは支部長名の依頼文書を標準化し、文書で要請する。
- ・阿南工業高校の報告者には、旅費を支給する。
- ・コンクリート甲子園の報告会も併せて行う。多度津高校の尾寄先生に要請する。こちらも旅費を支給する。懇親会へ参加する場合は、参加費を徴収する。
- ・特別講演会の講師候補を高知工科大学の吉田先生とし、島支部長が要請する。
- ・特別講演講師の旅費・謝金は、これまでの実績を考慮するが、本部に規定等を確認し決定する。
- ・懇親会の乾杯担当は、総会当日に島支部長が指名する。

研究委員会活動

平成 25 年度に実施した 4 件の研究委員会のうち 3 件が年度内で終了することが確認された。平成 26 年度は、氏家幹事と古田幹事から設置目的等について口頭で説明のあった新規 2 件を含め 3 件の研究委員会活動が承認された。また、平成 26 年度で 1 件が終了予定であるので、新たな委員会活動についても準備しなければならない。平成 27 年度早々にスタートするには、研究委員会設置を 10 月の拡大幹事会に諮る必要がある。そのことについて徳島大学で検討されるよう島支部長より要請があった。

- ・塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会【継続】
委員長：松島学（香川大学）
- ・委員会名は未定（2/20 の役員会へ報告するので 2/18 までに名称を決定）【新規】
委員長：氏家勲（愛媛大学）
【内容】各種スラグ・混和材を積極的に使用し、かつコンクリートの機能向上を図る方策に関する研究
- ・四国の生コン技術力活性化委員会(第 2 弾)【新規】
委員長：島弘（高知工科大学）
【内容】各県の生コン工場の技術者を委員とし、平成 24 年度・25 年度に活動した委員会の第 2 弾である。第 1 弾の委員会では、各県より生コン工場ならではの研究テーマが提案・実行され、その成果として JCI 年次大会 2014 に 4 編の論文を投稿することができた。生コンに特定したこのような委員会は全国初と思われ、継続の声が多いことから、委員の再募集を行いさらに 2 年

間の活動を行う。その結果を踏まえ 2 年後に委員会の常設化についても検討をお願いする。

講演会・講習会など

本案以外に以下の事業を計画する。

- ・ 総会時にコンクリート助成に対する活動報告として「第 7 回コンクリート甲子園」の報告を追加する。(報告時間 5 分ぐらい)
- ・ 共催事業として土木学会主催の 341 委員会の講習会を追加する。担当は橋本幹事とする。

見学会 (資料 2 - 4)

谷脇常任委員より 4 県の見学会候補地について説明があった。審議の結果、徳島県の「長安口ダム改造事業」を第 1 候補地とし、開催時期は 9 月～11 月とした。

本部関連行事

古田幹事よりコンクリート診断士・技士試験関連の予定について説明があった。なお、平成 27 年度の診断士講習会の日程調整について事務局より要請があった。しかし、支部役員が講師を務めるか未定であるので、日程については島支部長一任とした。

コンクリート教育の助成

- ・ 高校への助成は、これまでの実績から高知県の高校とする。高校の選定等調整は横井常任委員とする。
- ・ 第 8 回コンクリート甲子園へ 5 万円助成する。

ホームページ運営、会員増強については、これまでどおりの方針とする。

【収支予算案】(資料 2 - 3)

- ・ 予算案は承認された。
- ・ 事務局より業務委託費再考の要請があり、同じような形態で支部を運営している生コン工組へ実態を確認し、参考にすることになった。なお、業務委託費改定については島支部長預かりとし、役員会へ諮ることになった。
- ・ 予備費を計上できないなど新たなルールが本部で取り決められているので、ルールに抵触しないよう島支部長と事務局とで見直し、役員会へ諮ることになった。

(4) その他 (資料 5)

島支部長よりこれまでの本部関連委員について説明があり、平成 26 年度・27 年度任期の委員選定について審議した結果、以下のとおり推薦することになった。

- ・ 本部理事：氏家先生(愛媛大学)
- ・ 学会誌編集委員：渡辺先生(徳島大学，土木系) 塚越先生(徳島大学，建築系)
- ・ 工学論文集編集委員：橋本先生(徳島大学，土木系) 甲斐先生(高知工科大学，建築系)

以上 (記録者：古田 満広)